

いろいろ生きもの通信

NPO法人 いろいろ生きものネット埼玉

生きもの通信の発刊に当たって

NPO法人いろいろ生きものネット埼玉が活動を開始して1年がたちました。この間新人に対し暖かくご支援くださった皆様に心から御礼申し上げます。当団体は、狭山丘陵のフィールドミュージアム「緑の森博物館」の中で0.9haの管理地の里山保全活動を行う他、生物多様性保全に関する様々な活動を行っています。1年目は主に外来植物対策に取り組みました。特に特定外来生物オオフサモの除去活動では、他の環境保全団体とも共同し、貴重な経験を積むことができました。

私達の活動の原点は、「生物多様性に関する保全活動の活性化」にあります。そのため「①自ら動く、②ネットワークの構築・活用」をモットーに、多くの関係の皆様と連携して一歩ずつ取り組んでいきたいと存じます。

いろいろ生きものネット埼玉の活動



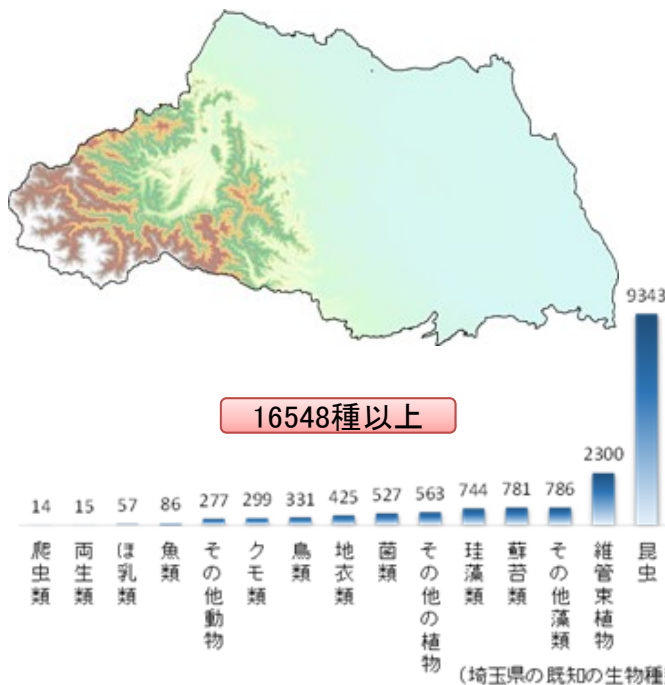
今回、当団体の活動をお知らせするためのツールとして「いろいろ生きもの通信」を発刊いたしました。楽しいものにしたいと願っています。今年に2回発行していく予定ですので、HPともどもお付き合いをよろしくお願い申し上げます。

(代表理事 脇坂純一)

埼玉県が多様な動植物相

保全すべき生きものは何か？

どうすれば保全できるのか？



シラコバト



シュレーゲルアオガエル



キリギリス



サワトラノオ

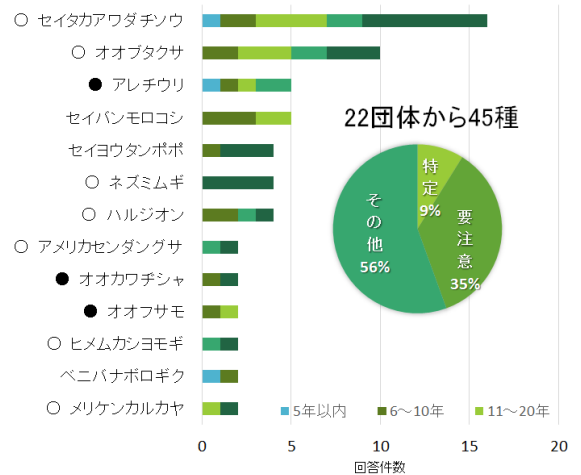
外来植物アンケート

生物多様性を脅かす原因には、開発による破壊や、里山の手入れ不足、温暖化など様々ですが、外来生物も大きな脅威の一つだと考えられています。外来生物が本来あるべき地域の生物多様性を壊してしまうと捉えられているからです。しかし、その外来生物をどのようにしたら良いのかということになると、それほど単純な話ではありません。古い時代に日本に入ってきた種も含めると、日本の植物の3分の1が外来種だと考えられていて、春の河川敷を彩るセイヨウカラシナも、秋の里山を赤く染めるヒガンバナも外来種であることに違いはありません。すでに日本の風景や生態系に深く入り込み馴染んでしまっている種も数多くあります。しかし、一方で、オオブタクサやアレチウリの様に、明らかにその地域にある在来種に悪影響を与えている種も目立ちます。そこで、いろいろ生きものネット埼玉では、2014年7月から県内で生物多様性保全活動を行っている団体を対象に

外来植物と地域の希少種に関するアンケート調査を実施しました。その結果、23の団体に協力いただき、県内の外来植物の実態や、抱えている課題がある程度把握できました。得られた結果は報告書としてまとめ、当NPOのホームページでも公開しています。是非、ご覧頂ければと思います。

(嶋田知英)

問題となっている主な外来植物と回答数



緑の森博物館での活動

私たちは、平成26年4月1日に埼玉県と協定を結び、狭山丘陵に位置する「さいたま緑の森博物館」において0.9haに広がる雑木林の管理を始めました。実際に現地で作業してみると、0.9haという面積は、私たちが想像していた以上に広く感じます。

活動地ではアズマネザサが林床を覆い、歩くことも容易ではありません。当面はササ刈りと常緑樹の伐採を中心に活動する予定です。

また、シイタケの駒打ちや伐採木を利用したコースター作りなど、「森の楽しさ」を感じる内容を組み入れ、参加者にとって魅力のある活動にしていきたいと思っています。(牧野敏之)



生きものモニタリング調査

県民参加生き物モニタリング調査を昨年5月から毎月行っています。昼休みに、メンバー数人で県庁から白幡沼まで歩き、道端の動植物を記録しています。沼では持参したお弁当をいただきます。1時間しかないので忙しいですが、小さな草むらに10種類以上の植物を見つけたり、カワセミのダイビングを見たりと、都市の片隅の自然は意外に面白いです。突然の地震で沼の葦原からゴイサギなどそれまで見かけなかった鳥が飛びだしたこともあります。動植物の名前を憶えてみたい方には最適ですので、是非ご参加ください。(大石章)



オオフサモ駆除

上尾市と伊奈町の境を流れる原市沼川で、特定外来生物オオフサモの除去を行いました。きっかけは地元の方からの県への通報でした。県では予算がない、手間がない、されど見過ごせない当団体に依頼が来たのです。みどり自然課の意気に感じ、非力ながらそそっかしくも一肌脱ごうと胴長靴に足を突っ込んだのです。

そこからは大車輪。9月27日現地を下見。青々と茂るオオフサモ。10月18日に現地調査。

「茎はつる状に数十センチ以上伸び複雑に絡み合っている。引っ張るとすぐに切れ根を抜くのは困難。面積最大300立米」との報告に闘志を漲らせ11月21日に試行。泥つきオオフサモ30袋を収穫し泥だらけ。冬枯れを待ち1月25日実施を決め、県と連携を図り地元団体へも呼びかけ。当日は地元の4つの環境保全団体の協力と県の河川管理、野生生物の所管部署の参加も得て、作業を実施することができました。



レーキでかき寄せ、川の水で泥を落とし、コンテナに入れてロープで引き上げ、土手の斜面に広げて干す。乾燥の後、市の焼却施設で処分という手順です。5コロニー、約25立米を除去しました。3月9日焼却場への搬出。上部は乾燥したものの下の方は泥。所々に若葉が萌え、燃えない?!上部のみに止め、軽トラ2台で運んだ量は350Kgでした。処分方法を検討すべく残りは存置し変化を観察中です。2回目は4月5日に実施、ブラジル生まれのオオフサモの状況や如何に。気の長い作業になりそうです。先輩団体を見習って、楽しく地道に活動を続けて行く所存です。今後ご支援ください。(岡安玲子)

第1回生きものフォーラム

当会では、生物多様性などの課題について、多くの方々と情報や意見を交換する場として、「生きものフォーラム」を定期的で開催することとしております。第1回目は次のとおり開催いたしました。

当日は、高校生を含め70名近い方々にご参加いただきました。今回は内容が盛りだくさんで、十分に意見交換をする時間が持てなかったことが反省点であり、次回の運営に生かしていきます。

ご参加いただいた皆様、ご講演いただいた方々、ご支援をいただいたサイサン環境保全基金様に心よりお礼を申し上げます。(星野弘志)

- ・日時 平成27年2月14日(土) 13:30~16:30
- ・会場 市民会館おおみや 第3集会室
(プログラム)

■記念講演

シカと日本人、保護と管理をめぐる過去と現在
三浦慎悟 早稲田大学人間科学学術院 教授



■基調講演

外来種のとらえ方

牧野彰吾 絶滅危惧植物種調査団 代表理事

■外来植物アンケート結果報告

嶋田知英 いろいろ生きものネット埼玉 理事

■生物多様性保全活動報告

- 1)天田 眞 エコシティ志木 代表理事
- 2)菅間宏子 荒川の自然を守る会 代表理事
- 3)岡安玲子 いろいろ生きものネット埼玉

■フロアディスカッション

(テーマ: 外来植物への対応)

コーディネーター

小峯 昇 自然観察指導員埼玉 代表理事

気になる生きもの

その① コサギ

埼玉県には野田の鷺山といわれる国の天然記念物のサギ類コロニー(集団繁殖地)がありました。250年間も続いたコロニーでしたが、残念ながら昭和47年に消失してしまいました。

最近、コサギが減少しています。既に千葉、東京、茨城では、絶滅危惧種に指定されています。ミツバチや赤とんぼの減少と同様にネオニコチノイド系農薬原因説もあります。ごくふつうに見られた鳥が減っていくのは寂しい限りです。

なお、シラサギという名前のサギはいません。この辺で見られる白いサギ4種(ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギ)を総称してシラサギと呼んでいるのです。



2本の冠羽と黄色い趾が特徴

(小峯昇)

その② アサギマダラ

『旅をするチョウ』としてマスコミでもしばしば取り上げられる大型で美しいタテハチョウの仲間です。このチョウの水色の部分に油性のフェルトペンで標識を書いて放ち、その情報をインターネットで公開します。野外で捕獲したアサギマダラに標識が付いていたら、その情報をインターネットで検索すると、そのチョウが、いつ、誰が、どこで放したのかが判る、という研究方法によってこのチョウが2000km以上も遠くまで移動することがわかっています。

右の写真はアサギマダラに標識を記入した実例です。何かの記号が書き込まれたアサギマダラを見つけた



ら当NPOまでぜひ知らせて下さい。(碓井徹)

会員のつぶやき

私は外来植物のすべてがいたずら者だとは思っていません。でも今回のオオフサモ除去は驚くばかりでした。あっさり抜いて、はい終わりには絶対ならないのです。もぐっている莖はしづとく元気そのもの「ベー」をしています。アズマネザサに似ています。これは長期戦。一人ではとてもムリ。大勢でやるからできるのです。団結は楽しいですね。義務じゃできませんよ。(牧野彰吾)

内閣府が行ったアンケート調査(H26)で「生物多様性という言葉を知っている」と答えた人はわずかに16.7%だったそうです。それは生物多様性が損なわれてもすぐに私たちの生活に影響がないからでしょうか。様々な生き物が共存できる豊かな地球環境を残していくために今、私たちに来ることってなに?を皆さんと考えていきたいなと思っています。(野澤裕子)

今後の活動予定

・27年5月31日(日):里山保全活動(緑の森博物館)

仲間に入りませんか
~会員を募集しています~

NPO法人いろいろ生きものネット埼玉では一緒に活動して下さる方を募集しています。

入会をご希望の方は下記ホームページからお申し込みください。

<https://sites.google.com/site/saitamaiinet/>

いろいろ生きもの通信 No.1

- 発行日 2015年5月1日
- 発行 NPO法人
いろいろ生きものネット埼玉
- 事務局 さいたま市大宮区大門
3-205ABCビル303
- e-mail iinet.saitama@gmail.com